

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>

臨 時 報

千葉県農林水産部

平成 23 年 7 月 14 日

～高温が続く見込みです。栽培管理に注意を！～

高温下での登熟は、乳白米等の品質低下の原因となります。関東甲信地方は7月9日頃に
 平年より 12 日早く梅雨明けを迎え、今後も高温が続く見込みです。

品質低下を軽減するため、次のような栽培管理に留意しましょう。

○ 水管理

登熟期の水不足は 減収と乳白米等の発生による品質低下の原因となります。また、特
 に出穂期～出穂後 10 日前後は高温の影響を受けやすいことや、自然由来のカドミウムの
 吸収を抑えるためにも、水管理に十分注意しましょう。

●出穂後2週間は湛水管理

水不足の時は、間断かんがいでもよいので、田面を湿らせるようにしましょう。

●出穂2週間後～出穂25日後までは間断かんがい

○ 穂肥の施用

葉色が低下した「コシヒカリ」では、登熟時の栄養不足により、乳白米の発生が懸念
 されます。葉色が低下し、穂肥を施用していない「コシヒカリ」のほ場は、出穂10日
 前までに穂肥を施用しましょう。

施用量の目安は窒素成分で 10a 当たり 3kg です。

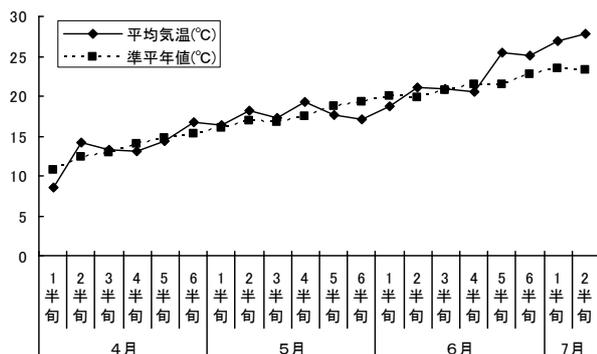


図 1 日平均気温の推移（アメダス、佐倉）

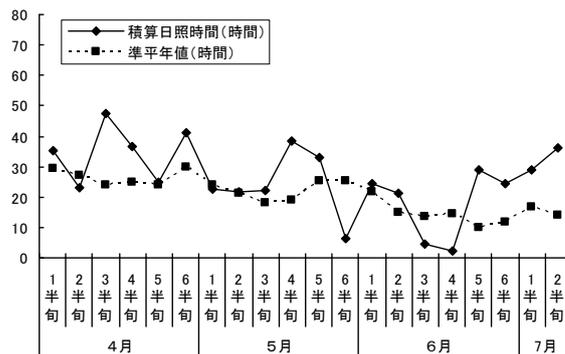


図 2 日照時間の推移（アメダス、佐倉）

表 1 品種別の出穂期予測

品種	植付時期	出穂期予測			
		県北	九十九里	内湾	県南
ふさおとめ	4月20日	7月17日	7月15日	7月14日	7月12日
ふさこがね	4月20日	7月19日	7月17日	7月16日	7月14日
コシヒカリ	4月20日	7月25日	7月23日	7月22日	7月20日
	5月 1日	7月28日	7月26日	7月25日	7月23日

※幼穂形成期の実測値からの推定値。

◆震災で田植えを遅くした稲の栽培管理◆

[遅植えした稲の生育状況](7月12日現在)

品種	植付時期	場所	葉齢 (枚)	草丈 (cm)	莖数 (本/株)	葉色	幼穂形成期 予測
コシヒカリ	5月16日	千葉市	11.4	73	22.1	同程度	7月10日
コシヒカリ	5月25日	千葉市	10.7	71	27.2	やや濃	7月13日
コシヒカリ	6月9日	香取市	8.4	53	25.4	濃	7月22日頃
コシヒカリ	6月10日	千葉市	8.9	49	18.4	濃	7月20日頃

植付株数：60株/坪、植付本数：4本/株

※葉色は5月1日植コシヒカリとの比較

5月16日植えは幼穂形成期に入りました。5月25日植えは間もなく幼穂形成期に入ります。草丈はやや伸長気味です。

6月上旬植えは葉色が濃く、分けつ盛期です。6月下旬から高温で日照時間も長く、生育はおおむね順調です。

遅植えの稲は稈長が伸びやすく、倒伏しやすいので穂肥の施用時期には注意しましょう。

[これからの管理の留意点]

○ 幼穂を確認して適期穂肥に備えよう

幼穂形成期は幼穂長 1mm の株が全体の 8 割に達した時点（出穂 25 日前）です。

穂肥の適期は幼穂長 10mm（出穂 18 日前）です。

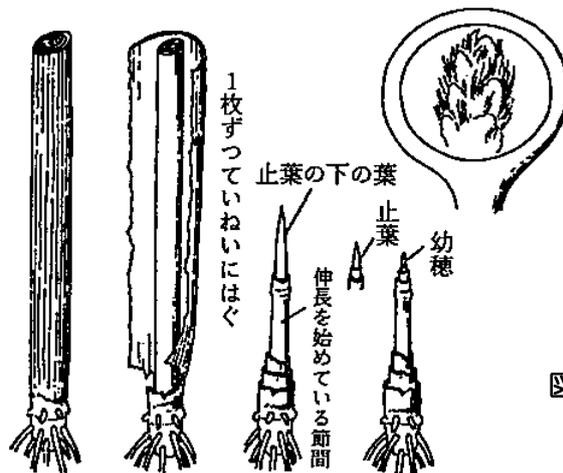


図3 幼穂の確認方法

(出典：農文協 農業技術体系作物編P134)

穂肥の施用時期を誤ると、倒伏や食味の低下を招きます。幼穂長をよく確認し、穂肥を適期に施用しましょう。施用量の目安は、窒素成分で3kgです。

○ 倒伏軽減剤は使用時期に注意

幼穂形成期の草丈が高く、葉色が濃い場合は倒伏の危険性があるので、倒伏軽減剤の使用を考えましょう。倒伏軽減剤は、薬剤によって使用時期が異なります。使用する時期や薬剤をしっかりと確認しましょう。薬剤については表2を参照してください。

表2 主な倒伏軽減剤

薬剤名	使用時期／使用回数	10a 当たり散布量	処理方法
ロミカ粒剤	出穂 25～10 日前まで／1 回	2～3kg	湛水散布
スマレクト粒剤	出穂 20～7 日前／1 回	2～3kg	湛水散布
ビビフルフロアブル	出穂 10～2 日前／1 回	75～100ml	茎葉散布

○ 中干しで倒伏防止

6月上旬に田植えをした稲は、莖数が確保されつつあります。遅植えの稲は、草丈が伸びやすく、倒伏しやすい傾向があるので、中干しをして倒伏を防ぎましょう。

ただし、塩害を受けたほ場については、被害の拡大を防ぐため、中干しをせず、湛水状態で管理してください。

○ 出穂3週間前～出穂2週間後は湛水管理！

カドミウムの吸収を抑えるため、出穂3週間前～出穂2週間後は湛水管理とします。通常の田植えと出穂時期が異なるので注意が必要です。幼穂形成期を過ぎたら、湛水を開始します。基本的な水管理は以下のとおりです。

- ① 中干しは強過ぎないように、土が湿って足跡が残る程度
- ② 中干し後から出穂3週間前までは間断かんがい
- ③ 出穂前3週間～出穂後2週間は湛水管理
- ④ 出穂2週間後から出穂25日後までは間断かんがい

○ いもち病の防除

穂いもちは出穂時に感染するので、葉いもちの発生しているほ場では出穂前に薬剤防除を行いましょう。薬剤は表3を参照してください。

○ イネツトムシ、イネアオムシに注意

遅植えの稲は、分けつ期にイネツトムシやイネアオムシが発生する場合があります。通常に移植されたほ場で7月上旬にイチモンジセセリ(イネツトムシ)により葉がつづられた「つと」(苞)が目立つとき、遅植え水田で多発する可能性があります。

被害が認められる場合は、トレボン粉剤 DL などの薬剤による防除を行いましょう。



図4 イネツトムシの「つと」の様子

○ 斑点米カメムシ類の防除

遅植えの稲は出穂が遅くなり、集中的な被害を受けるので、注意が必要です。斑点米の被害は成虫よりも幼虫による被害が大きく、乳熟期～糊熟期の吸汁によって被害が発生します。出穂期を想定しながら、薬剤防除を励行しましょう。薬剤は表4を参照してください。

○ 農薬のドリフトには要注意

用水の供給が遅くなって、地域内の田植え時期が広がった状況にあり、出穂時期がばらつくことが予想されます。農薬には使用できる収穫前日数を確認して散布しましょう。特に粉剤、液剤はドリフトを起こさないように注意しましょう。

遅植え稲の現在の生育の様子



図5 コシヒカリ（5月25日植え）
7月12日（千葉市緑区刈田子）の様子

間もなく幼穂形成期を迎える。
葉色は冷めてきたがまだ濃く、草丈はやや高い。

表3 いもち病の主な防除薬剤

作用性	薬剤名	使用時期／使用回数	使用時期／使用回数の注記	10a 当たり散布量
予防	オリゼメート粒剤	右記／2回まで	葉いもちには初発 10 日前から初発時に、穂いもちには出穂 3～4 週間前（ただし、収穫 14 日前まで）に散布	3～4kg
	キタジンP 粒剤	右記／2回まで	葉いもちには初発 7 日前から初発時に、穂いもちには出穂 20～7 日前に散布	3～5kg
	コラトップ粒剤 5	右記／2回まで	葉いもちには初発 10 日前から初発時に、穂いもちには出穂 30～5 日前に散布	3～4kg
	// ジャンボ	右記／2回まで	葉いもちには初発 20 日前から初発時に、穂いもちには出穂 30～5 日前に散布	10～13 個
	ブイゲット粒剤	収穫 45 日前まで／2回まで	葉いもちには初発 20～7 日前に湛水散布	3kg
	フジワン粒剤	収穫 30 日前まで／1回まで	葉いもちには初発 10～7 日前に、穂いもちには出穂 30～10 日前に湛水散布	3～5kg
	ラブサイド粉剤 DL	収穫 7 日前まで／3回まで		3～4kg
予防 ・ 治療	イモチエース粒剤	収穫 35 日前まで／1回まで		3kg
	カスラブサイド粉剤 DL	穂揃期まで／2回まで		3～4kg
	ノンプラス 粉剤 DL	収穫 21 日前まで／2回まで		3～4kg
	// フロアブル1,000 倍液	収穫 21 日前まで／2回まで		注
	ブラシン 粉剤 DL	収穫 21 日前まで／2回まで		3～4kg
	// フロアブル 1,000 倍液	収穫 21 日前まで／2回まで		注
治療	カスミン 粉剤 DL	穂揃期まで／2回まで		3～4kg
	// 液剤 1,000 倍液	穂揃期まで／2回まで		注

※ 注：乳剤、フロアブル剤、液剤の 10a 当たりの散布量の目安は次のとおり
 本田初～中期：100～120 リットル、穂ばらみ期・出穂期：120～150 リットル

表4 斑点米カメムシ類の防除薬剤

薬剤名	使用時期/使用回数	10a 当たり散布量
有機リン系		
エルサン粉剤 3DL	収穫 7 日前まで/2 回以内	3kg
スミチオン乳剤 1,000 倍液	収穫 21 日前まで/2 回以内	120~140 リットル
スミチオン粉剤 3DL	収穫 21 日前まで/2 回以内 (ただし出穂前は 1 回以内)	3~4kg
バイジット粉剤 2DL	収穫 21 日前まで/2 回以内	3~4kg
合成ピレスロイド系		
MR.ジョーカーEW 2,000 倍液	収穫 14 日前まで/2 回以内	60~150 リットル
MR.ジョーカー粉剤 DL	収穫 7 日前まで/2 回以内	3~4kg
トレボン粉剤 DL	収穫 7 日前まで/3 回以内	3~4kg
トレボン MC 2,000 倍液	収穫 21 日前まで/3 回以内	120~140 リットル
ネオニコチノイド系		
ベストガード粉剤 DL	収穫 14 日前まで/4 回以内	4kg
スタークル (アルバリン) 顆粒水溶剤 2,000 倍液	収穫 7 日前まで/3 回以内	60~150 リットル
スタークル (アルバリン) 粉剤 DL	収穫 7 日前まで/3 回以内	3kg
ダントツ水溶剤 4,000 倍液	収穫 7 日前まで/3 回以内	60~150 リットル
ダントツ粉剤 DL	収穫 7 日前まで/3 回以内	3~4kg
その他		
キラップ粒剤	収穫 14 日前まで/2 回以内	3kg
有機リン+カーバメート系		
エルサンバッサ粉剤 20DL	収穫 7 日前まで/2 回以内	3~4kg